

2022.3
No.146

膳所市民ニュース

ZEZE CIVIC NEWS



発行 膳所まちづくり委員会
編集 情報発信部
膳所市民ニュース編集班
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

市民ニュースHPには、お知らせやトピックス掲載中。

生誕150年
特集

山元春拳と膳所の人々



山元春拳

3月12日～4月17日まで、大津市歴史博物館で開催されている「蘆花浅水荘と山元春拳画塾」は、明治末期から昭和初めにかけて名をはせた関西画壇の巨匠山元春拳が設計した蘆花浅水荘を中心に交流した門人などの作品が展示されています。

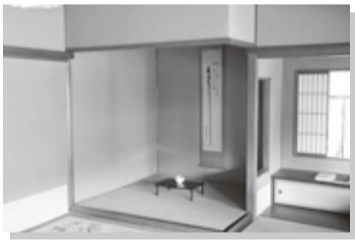
また関連行事として、膳所焼美術館などをめぐり現地見学会や講座（詳しくは大津市歴史博物館 ☎521-2100まで）も開催されます。今後、滋賀県立美術館での山元春拳展も予定されており、今年の膳所は文字どおり春拳の春です。



春拳の美意識と遊び心 「蘆花浅水荘」

わが国の近代和風建築では3本の指に入ると言われる国指定重要文化財「蘆花浅水荘」。その魅力は腕も材も超一流の建築物の随所に見られる春拳の遊び心です。

蘆花浅水荘の表門は裏千家と同じ兜門、禅寺のようにも見える玄関は素朴な数寄屋風で、奥に進めば付け書院のある客間です。客間の襖の引手は月形ですが、よく見ると半月から満月に変わり、しかも月がのぼり沈んでいきます。客間の手前の茶室残月の間は網代天井で柱がわざわざ壁に塗りこめられています。部屋を



蘆花浅水荘客間

囲む広縁は船底天井で棟木は北山杉の1本丸太。客間の北側には、茶室莎香亭があり、傍らの2畳の小部屋には春拳の梅の絵、火灯窓の外には本物の梅の木が植えられています。竹尽くしの竹の間では、丸窓から雀が飛んできたかのような仕掛けに驚かされます。建物の2階には洋室と春拳のアトリエがそのまま残され、名前の知られた人たちの書なども飾られています。

膳所に生まれた春拳は、美術工芸品等の研究家が膳所に現れるために相談にも応じるので、蘆花浅水荘を「集会場に開放し充分利用して貰いたい」と書いています。春拳の願いどおり膳所の文化サロンとして「蘆花浅水荘」には多くの門人や美術家工芸作家たちが集まり、様々なものが生み出されています。その一つが膳所焼の復興でした。



春拳ゆかりの人たち

蘆花浅水荘には、竹細工の名人清水風外の作品が数多く残されていますが、春拳は無欲で名人気質の風外を信頼し、蘆花浅水荘の竹の間には柱や置物まで風外の手になる竹細工がいたるところに施されています。また、春拳の妻の父親である生駒秀一は、盆梅を数百鉢育てて、現在の篠津神社北隣の自宅を「梅仙窟」と呼んでいました。梅仙窟の盆梅は膳所の観光名所にもなり、昭和初期まで大勢の観客が訪れたという記録が残されています。なお、春拳や門人たち、風外の作品の一部は膳所市民センター2階膳所歴史資料室（毎月第3日曜公開）や本多神社膳所藩資料館（要予約）でも見ることができます。

現在、蘆花浅水荘の歴史的価値を後世に伝え、春拳の願いを次代に引き継ぐため、様々な分野の人たちが集まり「春縁会」を組織しているほか、滋賀銀行膳所支店の皆さんが庭園の草引きボランティアにも参加しておられるそうです。



本多神社膳所藩資料館所蔵 風外作「蛭」

注) 文中歴史的な人物である方々は敬称を略させていただきました。(編集長)

岩崎健三の情熱

膳所藩の5代藩主菅沼定芳や小堀遠州と親交のあった6代藩主石川忠総によって広められた膳所焼は、茶陶として発展しますが、やがて衰退し江戸時代後期に梅林焼や雀ヶ谷焼としてその技法は伝えられましたが、明治以降は関心を集めることもなくなりました。

江戸時代の膳所焼に魅せられた岩崎健三は、大正8年、膳所焼復興をめざすようになります。しかし復興膳所焼が世間に認知され商品化されるまでは苦勞の連続で、家屋や田畑までも売却していました。その健三を支援した一人が春拳です。

春拳は健三の情熱に打たれ、自ら絵付け指導などにあたりました。健三の死後、息子の新定は復興膳所焼の窯火を守り、古膳所焼や関連資料を集め昭和62年、膳所焼美術館を開館させました。



膳所焼美術館

今日の膳所焼は大名や行政の援助で復興されたものではありません。膳所の一市民が全財産を投げ打ち、陶芸家や画家の力を借りながら復興させたことの意義は、復興膳所焼の作品とともに次代に語り継がれるでしょう。

疋田春湖たち 門人の活躍

春拳と共に門人たちも膳所焼の絵付けを手伝いました。その中の一人疋田春湖は、春拳門下の早苗会会員として活躍。戦後はいち早く滋賀県美術作品協会を設立し、戦後衰退していた湖国美術界の復興に尽くされました。また門人たちには、本

格的な日本画だけではなくモダンな日本画や前衛的なものまで、多彩な才能が集まり、春拳の思いに添えていきました。



瓦ヶ浜「竹喜」の客間に掲げられた春湖の作品

膳所焼美術館 開館時間 10時～16時

入館料：大人900円（呈茶あり）
休館日：月・火（祝日除く） ☎077-523-1118

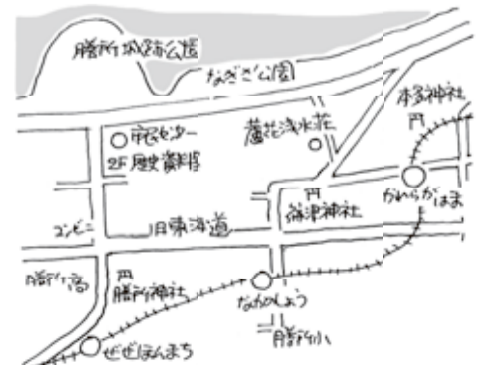
蘆花浅水荘（記恩寺）開館時間 10時～16時

拝観料500円 ☎077-522-2183

事前予約制

スタッフが建物内を説明することになっていますので10人程度のグループで事前にお申込み下さい。

ただし現在は予約が混みあっており大津市歴史博物館の現地見学会や膳所歴史資料室のまち歩きに参加されることをお勧めします。



膳所桜まつり

4月3日(日) 開催予定

膳所観光協会の解散に伴い膳所の観光事業を引き継いだ膳所まちづくり委員会では、3年ぶりの「膳所桜まつり」を開催するために準備を進めています。

計画では、コロナ感染対策の上でのフリーマーケットや野点茶会、ステージ発表のほか昨年引き続き写真コンクールなども実施されます。詳しくは膳所まちづくり委員会で作成される広報物等でご確認ください。なお、コロナの感染拡大や荒天などの気象条件により膳所城跡公園内での催しは中止になる場合があります。



令和3年膳所桜まつり
写真コンクール入選作品
撮影 田中勇一さん

膳所の桜写真コンクール

★作品募集

題材 今春の膳所地域の桜を撮影してご応募ください。

応募期間 令和4年4月1日～4月30日

サイズ カラープリント 六つ切りからA4まで(組み写真不可)

審査 膳所まちづくり委員会

発表と表彰 5月末に発表し令和4年度まちづくり委員会総会にて表彰(8月)

応募先 膳所市民センター内 膳所公民館

★応募規定

応募作品は返却しません。

入賞作品の著作権は主催者に属します。

応募作品には、題名、撮影場所、出品者の住所・氏名・電話番号を添付してください。なお入賞作品は膳所市民センターに展示します。

町対抗 グラウンドゴルフ大会 ～熱戦が繰り広げられました～

2月23日、膳所小学校運動場で、膳所学区体育振興会が主催となった「グラウンドゴルフ大会」が行われました。

この日は晴れていましたが、とても寒い日だったので手がかじかんでしまい、思うようにスイング出来ない参加者も多いようでした。それでも時折、ホールインワンが出ると、あちこちから歓声が上がるなど、寒さを吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。

コロナ禍の下、参加した自治会は少なかったのですが、参加者はスポーツを通じて、親睦を深めました。各ブロックの優勝チームは次のとおりです。

Aブロック 杉浦二区

Bブロック 瓦ヶ浜町



膳所桜まつり関連行事4月2日(土) 3日(日) 開催

膳所歴史資料室特別企画「春拳の春」

◆ミニ企画展「山元春拳画塾早苗会」の写真展(両日10時～15時)

膳所市民センター2階の歴史資料室では、山元春拳の門人 疋田春湖や岩崎健三の写真10点を展示します。また常設展示として山元春拳や弟子の疋田春湖、小林翠溪の作品を展示しています。



まちあるき 「膳所の桜と蘆花浅水荘をたずねて」



実施日 4月2日、3日

午後1時～4時

コース 膳所歴史資料室～膳所神社～蘆花浅水荘～本多神社(膳所藩資料館)

定員 4月2日、3日両日とも10人

参加費 1,000円(拝観料)

参加ご希望の方はハガキに参加希望日と住所・氏名・電話番号をご記入の上、〒520-0812大津市木下町7-6 寺田智次 まで メ切3月28日



膳所火まつり 無観客開催

膳所火まつりは、ヨシの再生と琵琶湖の環境保全を目的に住民参加の下、長年にわたり開催されてきましたが、コロナ禍の本年は実行委員会で慎重に議論した上で、催しの趣旨は大切にしながらもコロナの感染拡大を考慮して「無観客開催」となりました。

3月5日(土)、恒例の陪膳鍋(おものなべ)や甘酒のふるまい、子ども達の行灯展示も中止するなど一般参加をご遠慮いただき、膳所石鹿太鼓の勇壮な響きを合図に、火まつり実行委員会委員や自治会長など関係者が100本のヨシ松明に点火。スポ少の子ども達に代わって点火した実行委員は「子ども達のためにも素晴らしい琵琶湖の自然を大切にしていきたい」と話されていました。



膳所体振スポーツ少年団 団員を募集!

膳所体振スポーツ少年団では、スポーツを通して健康な身体と心を養うとともに、友情を深めることを目的に、5つのクラブが元気いっぱい活動しています。

このたび令和4年度の団員を募集します。全クラブとも随時、入団体験や見学を行っていますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

石鹿ジュニアソフトテニスクラブ

▶北澤 ☎090-9698-4447

少年野球 ニュー膳所

▶西村 ☎090-8739-4661

膳所剣友会(剣道)

▶宮口 zezekenyukai@gmail.com

膳所ジュニアフットボールクラブ

(サッカー)

▶森 ☎090-6235-2573

膳所体振ジュニアバレーボール部

▶井上 ☎090-9115-6112



全体的なお問い合わせは、

膳所体振スポーツ少年団事務局 郷 ☎090-5053-3677まで

膳所JFCが県大会に出場 10年ぶりの快挙!

膳所ジュニアフットボールクラブ(JFC)が、滋賀県大会「U11サッカー選手権大会滋賀県大会」への出場を決めました。県大会への出場は10年ぶりです。膳所JFCの監督兼代表の塚本悠亮さんは「主力の5年生が、6年生と昨年来から切磋琢磨しながら技術を磨いた結果であり、6年生には感謝の気持ちで一杯です。選手一同精いっぱい駆け抜けてください」と子ども達を激励しました。残念ながら初戦で敗退しましたが、これからも膳所JFCの活躍に期待します。



一枚の昭和の写真から part 7

杉浦町の深田 猛さんからご提供いただいた昭和30年代初めの「御殿浜」です。深田さんの父親が撮られたもので、水泳場付近や水泳場で友人と泳いでいたりする写真です。今から60年以上前、昭和30年代終わりにはこの辺りの水際は埋め立てられ現在の県道になり、その後さらに埋め立て範囲が広げられて湖岸なぎさ公園になる前の貴重な写真です。

市民ニュース編集部や膳所歴史資料室では昭和の写真を探しています。何でもないとされる写真が次代には貴重な史料となります。是非お知らせください。なお、写真は複写してお返しします。



上清水町 自治会 ラジオ体操と4自治会による消火ポンプ稼働訓練

ラジオ体操は7月26日～8月5日まで、子ども達だけではなく大人にも参加を呼び掛け、延105人が参加。また膳所学区自主防災会が保有する消火ポンプをいつでも使えるようにと、保管場所の近隣4自治会（上清水町、下清水町、南相模町、トゥルータウン）が交代で稼働訓練することになり、上清水町ではコロナ感染対策の上防災委員3人により8月と12月に実施しました。



ふれあいサロンから

膳所学区社会福祉協議会では、各自治会を対象に地域での交流を目的にした補助事業「ふれあいサロン」を実施しています。今年度の取り組みから1自治会を紹介します。



子どもたちの人権作品集発行

膳所学区「人権・生涯」学習推進協議会では、膳所学区の保育園、幼稚園、小学校、中学校および朝鮮学校の協力で、互いに認め合い思いやる心を標語や作文、絵画などで表現した作品集を発行しました。作品集は3月中に全戸配布される予定です。是非お読みください。



自治会長会議より 2月

今年初めて開催された定例自治会長会議は、密を避けるため、2月20日(日)午後から二部制で開催。新年度負担金や自治会役員の報告依頼等について話し合いが行われました。また、会則の一部を変更する議案が書面表決による臨時総会で可決承認されました。

冬期愛のパトロール

令和3年12月23日から令和4年1月7日までの間に、膳所学区の学校園を巡視する愛のパトロールを実施。コロナ禍のため学校などからの参加は見送られ、膳所ブリングアップ地域安全部の部員延36人が参加して夜間や夕暮れ時に子ども達への声掛けが行われました。



新春書き初め会

1月4日、膳所市民センターで膳所ブリングアップ主催の新春書き初め会が行われ、39人が参加しました。子ども達は、講師の西村千恵子さんの指導の下、真剣な顔つきで力強く書き上げました。また深田猛さんを講師に招いて陶皿の絵付けも行われ、子ども達は想像力をフルに働かせ、世界に一つしかないオリジナル作品を仕上げました。



城跡公園に膳所城説明板と桜の植樹

このほど膳所城跡公園の北側、天守閣跡に大津市公園緑地課が膳所城の説明板を設置しました。膳所歴史資料室などからの要望に応じていただいたもので、膳所城郭明細図に日本三大湖城膳所城の特徴などが書かれています。



また、石鹿地藏世話人会は、浄財をもとに毎年公園内の枯れた桜などの植え替えを進めていますが、今年は、野外ステージのそば、台風で倒れたプラタナスの大きな切り株を撤去処分して、ソメイヨシノの若木を植えました。これで植え替えは12本目になります。

コロナ禍の

ヨシ刈りとヨシ焼き

2月17日、雪まじりの冷たい風が吹く中、膳所火まつり実行委員会委員や支所関係者など9人により膳所城跡公園北側のヨシ刈りが行われました。コロナ禍でもあり最小限の人数での作業でしたが、手際よく2時間ほどでヨシの刈り取りとヨシ帯に捨てられていたビン、ペットボトル、漂着ゴミなどの回収と清掃も完了しました。事業所からのボランティアとして参加されたクリーンシステムNAOSUKE(ナオスケ)の杉浦直弥さんと中島翼さんは、「空き缶などの

ポイ捨てゴミが想像以上に多くて驚きました。ささやかな社会貢献活動ですが地域のお役に立ててうれしいです」と話されていました。

なお、刈り取ったヨシは2月19日大津市消防



団膳所分団7人の協力の下、火まつり実行委員会委員12人により焼き払われました。ヨシ焼きはヨシの芽立ちと生育、害虫駆除のために行われるもので、4月には新しいヨシが芽吹いてきます。



膳所城跡公園と 弁天様

膳所城は明治3年民間に売却され、本丸跡はグリーンランドなどの名称で永く民間施設として利用されてきましたが、昭和26年4月大津市が土地を購入し、膳所城址公園（後に城跡公園に変更）として整備したものです。当時は堀が残っていたため、まず架橋工から始めたという記録があります。公園の北側、天守跡の碑の傍らには浜弁財天の祠がありますが、昭和26年前後に山田政一（真照）さんが夢で見たことをきっかけに、竹生島を拝する位置に弁財天を祀ったそうです。竹生島が膳所城の鬼門の方角にあたることも関係しているかもしれません。いずれにしても、水にゆかりがあり音楽と財福の神が見守る膳所城跡公園に、今年こそ桜まつりや花火大会にぎわいが戻ってほしいものです。



膳所桜まつり前日の弁財天祭礼(平成26年)



膳所のお地蔵さま⑥ 「みろく地蔵」

お地蔵さまだけど「みろく」と名前がついているのは兵田川沿いの杉浦町に祀られたお地蔵様。その丸みを帯びたお姿から「みろく」と呼ばれるようになったのか、由来は不明ですが、その場所から南は一直線の道。江戸時代には川の北側に見張り小屋があり、南からの侵入者を監視していたとか。今は、みろく地蔵さまが地域の安全を見守っているのかもしれない。市民ニュースではお近くのお地蔵さま情報をお待ちしています。是非お知らせください。



その周りにはきれいな水にしか生息しないアカハラと呼ばれるイモリやカワムツもいました。公園の弁天さんの北側には、昔は棧橋があり、膳中（現膳所高校）の学生たちがよく泳いでいましたが、そこにも冷たい水が何カ所か湧き出ていました。10年前にも、北の丸の発掘調査の現場で、水がぽこぽこ湧き出ているのを見つけて、膳所の歴史に詳しいTさんに急いで報告に行きました。今もきっと湖のどこかで生水は湧き続けているはずです。



北の丸発掘調査関連工事の際の湧き水(平成24年)

漢字パズル

膳所商店街
《協賛》

□の中に漢字1文字を入れて、矢印の方向に2字熟語4つができるようにしてください。

正解者の中から3名の方に、膳所商店街商品券（千円相当）をプレゼントします。
応募方法／ハガキに答と住所、氏名、面白かった記事や感想をご記入の上、「〒520-0812 大津市木下町7-6 寺田智次」まで。
メ切／令和4年4月30日消印有効。
当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。なお前回の答は「山」でした。

ヒント:君の□は

問題 大
↓
人→□→人
↓
物

例題 富
↓
岡→山→梨
↓
形

膳所商店街のお店と事業所(順不同)

- フォトハウスアワズ(杉浦町7-11) ●金波(丸の内町9-30)
- 中山製茶(中庄2-1-58) ●富永園茶舗(膳所2-10-15)
- いとう呉服店(中庄1-15-23) ●御菓子司亀屋廣房(本丸町3-7)
- 中塚電機(中庄1-13-12) ●高木生花店(中庄1-15-10)
- 澤常商店(本丸町2-15) ●竹内自転車店(杉浦町19-16)
- 竹喜(中庄1-9-13) ●HAIR MAKE PROOF OF POWER(中庄1-11-19)
- 京都新聞膳所販売所(秋葉台11-5) ●ふくち寝装サラダ館膳所店(中庄1-21-6)
- 山本石材店大津店(相模町2-44) ●もも薬局(丸の内町9-30)
- 池田生花店(膳所2-2-21) ●文具まつら(相模町4-12)
- 貴宝堂よこの(丸の内町4-38) ●つる家(本丸町2-8)
- 田中花店(本丸町5-52) ●馬杉湖魚店(本丸町1-3)
- ガジェットハウス(膳所2-10-13) ●澤建設工業所(膳所1-4-20)
- 滋賀銀行膳所支店(本丸町1-18)
- 松田常盤堂(本丸町5-56) ●いのうえ(丸の内町4-41)
- 西久興産(膳所2-13-6) ●読売センター膳所(丸の内町4-40)
- 加藤酒店(木下町13-1) ●京都信用金庫膳所支店(本丸町1-1)
- ライフハピネス(御殿浜7-22)

訂正とお詫び

前号「膳所の東海道」で東海道の距離を513キロとしていましたが、宿場間の距離の総計をおおよそ500キロに訂正いたします。資料の確認不足をお詫び申し上げます。(編集長)

膳所の漁師の昔話④

「生水」

田中政之

湧き水のことを生水といいます。現在の膳所城跡公園の駐車場や県道あたりは60年程前までは膳所城の堀跡になっていて、そこに架かる石橋からいくつもの生水を見つけることができました。生水は堀の真菰に新鮮な酸素と栄養を補給し、



膳所城跡公園前に残されていたお堀現在は埋め立てられて県道に(昭和30年代)

第16話 町名に歴史あり「御殿浜」



御殿浜とは、寛文4年(1664年)膳所藩主本多俊次によって造営された隠居所瓦ヶ浜御殿に由来します。瓦ヶ浜御殿は明治維新以後、跡地には本多神社が建立されました。後に敷地の多くが都市計画道路用地などになりましたが、現在は、本多家の子孫である本多啓一郎宮司により、瓦ヶ浜御殿の往時をしのばせる庭園の跡などが徐々に復元整備されています。また、昭和8年から湖岸道路が整備されるまでの約30年間、水辺は御殿浜水泳場や汽船乗り場として利用されていました。



瓦ヶ浜御殿跡に建立された本多神社社殿

読者からのお便り

市民ニュースの読者の方から、クイズへの回答に併せて前号(145号)の記事などについての感想をたくさんいただいていますので、一部を紹介します。

★膳所のなんでも学「マンポ」／うちのおばあさん、トンネルがと言うとマンポやねとか北向きの地蔵さんは子供の頃よく行っていたというのを思い出します(中庄2 Yさん) ★2021年をふりかえる膳所いろはカルタ／素晴らしい出来栄でした(中庄1 Mさん)

★町名に歴史あり／膳所神社の前が広がっている理由がわかりました(木下町 Sさん) ★読者からの便り／掲載いただきありがとうございます。羅漢さんの写真なつかしく合掌しました(中庄1 Iさん) ★コラム／当時の様子が生きいきと伝わりスリルも味わいました。米兵からの発砲恐ろしかったと思います(御殿浜7 Hさん) ★膳所の東海道／東海道の看板を滋賀銀行体育館の近くの家にかかっているのを見ました。手作りなんですね。膳所高校書道部の字であること。たくさんの人が支えていることを実感しました。(西の庄20 Nさん) 粟津の松並

木の写真タイムスリップしたような感覚でじっと見入りました(別保2 Fさん) 慣れ親しんだところの歴史を知ることが出来ました(中庄2 Kさん) 統一サインのボードは歴史のある膳所の町に美しく似合っていると思います(別保1 Tさん) ★膳所のお地蔵様／ウォーキングで膳所公園のお地蔵様いつも手を合わせています(本丸町 Oさん) ★その他／昔の話や今の話題読み応えがあり本当に楽しい内容です(丸の内町 Yさん) 膳所に住んで40年以上、知らないことが沢山あります。色んな事が知れて楽しみです(本丸町 Kさん)